

ICメッセンジャー 簡易出席管理キット

導入事例

跡見学園女子大学様 導入事例

運用方法

- ・受講者数が多い特定の講義の出席管理に使用。
- ・ICカードリーダーは教室固定設置ではなく、教務課のスタッフがその講義の前に教室に持参し、学生がICラベル付カードをかざします。
- ・受講者が多い(300名以上)ので、ICカードリーダーは3台で運用。
- ・ラベルの発行は付属のICラベルプリンタを使って発行。



導入後の感想



このキットを使っている講義の受講生は300人規模になるため、以前は出席カードを配布して学生に記入してもらい、その後回収して集計し、電子媒体へ入力するという作業が必要でした。

今回、簡易出席管理キットを導入したことにより、出席カード配布・回収・集計作業・電子媒体への入力といった手間が無くなり、大規模授業に対する**出席管理の効率化**を図ることができました。

すでに学生証として磁気カードを配布していましたが、今回は改めてICカードを発行するのではなく、ラベルタイプのICタグ(ISO15693タグ)を既存の学生証の空きスペースに貼り付ける形で運用しています。

効率化

将来的には学生証をICカード化し、全学的な出席管理や図書館利用、証明書発行など多様な用途で使いたいと考えています。しかし、学内全体での調整や検討にまだまだ時間がかかりそうというのが現状です。

そういう状況の中で、大人数の講義だけでもICタグを使った出席管理を始められないか、とたどりついたのがこの簡易出席管理キットでした。

拡張性

今回のキットに付属しているICカードリーダーは、「ISO15693」や「FeliCa」、「Mifare」などカードタイプのマルチリードに対応しているため、ICタグのタイプ変更にも**柔軟に対応できる**点も、導入に踏み切る大きな要素になりました。

付属の「簡易出席管理ソフト」に関しては、機能に多少制限はあるものの、限られた講義に特定して運用する上では、十分期待に応えてくれています。

「時間割の変更」や「補講や講義時間の移動」などイレギュラーな事態が発生した場合も、若干変更作業がありますが、慣れてくれば問題なく運用できます。

ピッタリ!

ICカードを使った出席管理を**小規模からスタート**できて、将来的な拡張にも対応している簡易出席管理キットは、私たちのニーズを十分に満たしてくれています。

跡見学園女子大学
学務部教務課 ご担当者様

跡見学園女子大学



株式会社ICブレインズ

